

動力模型通信

SLOT CARS, R/C CARS, MOTORIZED CARS ETC.

こちらは現行品・新製品に限らず、モデルカーエンジニアリングの視点からユニークな動力模型だけを皆様にご紹介するページ。キーワードは温故知新。いにしへのエンジニアの粋とプライドを知り、小さな獣たちを眠りから呼び覚まし、そのパフォーマンスを叩き出すことこそ、動力模型趣味人の嗜みであります。先達の知恵に敬礼。動力模型自動車万歳!!

photo © Dslot43 day report: Kyosho (京商)

第2回 Dslot43 day 開催!



『Dslot43 day @Y.S.R.』レポート

■問い合わせ: 京商ユーザー相談室 Tel.046-229-4115 (受付時間: 祝祭日を除く 月曜～金曜 13:00～19:00)
http://www.kyosho.com/dslot43/index.html

先月号でお伝えした通り、京商は去る7月8日(日)に横浜市中区のスロットカーサーキット『Y.S.R.』で『第2回 Dslot43 day』を開催した。今回は、ワンメイクレースをメインイベントとしての開催。レースには9名のエントリーがあり、Dslot43開発担当者からの説明や、フリー走行タイムの後、レースが行われた。『Y.S.R.』のコースは6レーンなので、ヒートごとにレーンを変えながらの全6ヒート。1ヒートは2分間で、合計周回数の多い者が勝つというルールで実施された。また合計周回数が同じ者同士がいる場合は、順位決定戦(3周を走ったベストラップで順位を決める)が実施された。参加者のほぼ全員が日頃は1/32スロット・レーシングを楽しんでおり、週末には『Y.S.R.』でレースに興じている方々。普段『Y.S.R.』で行われている1/32スケールのスケールレースのレース等だと、優勝者は、65～66周ほど周回するという。なお今回のレースでは、『Dslot43』の“素の性能”を知って頂くために、全て箱から出したばかりのフルノーマル状態のマシンが使用された。エントリーは“とてもよく走り、予想を裏切られた。これまでの自分が抱いていた1/43のイメージとまったく違った”“この性能ならレースをしたら楽しそう”“カスタムして走らせたい。とりあえずはギアを変えて試してみたい”“プラモデルをカスタムしてボディにしたいので、シャシーだけ売ってもらえたらうれしい”等々、様々な意見を口々に語ってくれた。また“スーパーGTのボディを出してほしい”というご要望を多くの方から頂いたという。前回の『パンプロ』は元来1/24ユーザーが多いが、『Y.S.R.』は元々1/32がメイン。ゆえに発売して欲しいボディの要望は、かなり異なっていたようである。

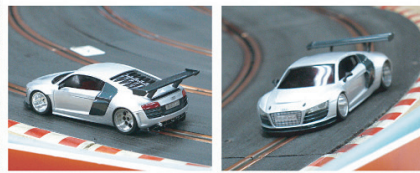


Y.S.R. 店舗情報

住所: 神奈川県横浜市中区羽衣町3-63-7 アンジェ関内B1
http://www.slotracing.jp/
Tel.045-231-5957



プラモデル(アライ 1/32スケール オーナーズクラブ)のボディを使った、スバル360とホンダN360。1/32スケールだが、軽自動車のプラモゆえ、Dslot43のシャシーにうまくフィットしている。N360の片方は、今回のイベントのためにショップオーナー自らが寝る間を惜しんで手作りしたモノ。改造内容はDslot43のシャシーに合うプラモデルを探してただ載せるだけでなく、ストライプや窓枠塗装、フィギュアを乗せる程の拘りよう。N360はキットに付属しているオーバーフェンダーを装着して日本グランプリ仕様。ちなみにシャシーはランボルギーニ・ムルシエラゴのものが取まりが良かったとのことだが、シャフトの取り付けには少し工夫が必要とのことである。ボディとシャシーはマジックテープで留められている。自由な発想で楽しみ、眺めても走らせても楽しいスロットカー。Dslot43もアイディア次第で、もっと面白くなりそうだ!



Dslot43のR8ボディのカスタム? とはいきや、そうではなく……。ボディは、X-Power社のdNaNo用R8のボディ。迫力を感じさせる低扁平の足廻りは、1/32用のアルミホイールを装着している(フィット感を考慮して前後違うブランドのホイールを履いている)。

model cars

『モデル・カーズ』(ネコ・パブリッシング)
2012年9月号より